

伊集院保健所感染症情報

2025年第38週（令和7年9月15日～令和7年9月21日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令：水痘

管内流行発生警報発令中：伝染性紅斑

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI 2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第35週	第36週	第37週	第38週	先週からの増減	第37週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	120.00	118.00	108.00	102.50	↘	72.07	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.00	1.50	3.50	7.00	↗	3.00	↗
COVID-19	—	—	—	12.00	15.00	15.50	5.00	↘	13.04	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	2.00	5.00	0.00	↘	0.65	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	2.00	2.00	4.00	↗	1.65	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	2.00	5.00	4.00	3.00	↘	4.97	↗
水痘	2	1	1	2.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.32	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.29	↗
伝染性紅斑	2	1	—	4.00	3.00	3.00	5.00	↗	2.13	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.48	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	1.39	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.16	↗
RSウイルス感染症	—	—	—	7.00	4.00	2.00	3.00	↗	2.81	↗
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳1（54）							
※警報域			：太文字で赤色の塗りつぶし、							
			注意報域							
			：太文字で黄色の塗りつぶし							

TOPIC 腸管出血性大腸菌感染症について

島根県で100人を超える食中毒の事例が報告されています。

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素という毒素をだす大腸菌による感染症です。

無症状や軽症で終わる場合もありますが、主に水様の下痢、激しい腹痛、血便、嘔吐や38℃台の発熱等の症状が現れます。中には溶血性尿毒症症候群(HUS)をひきおこし、小児や高齢者では致命的となるケースもあります。

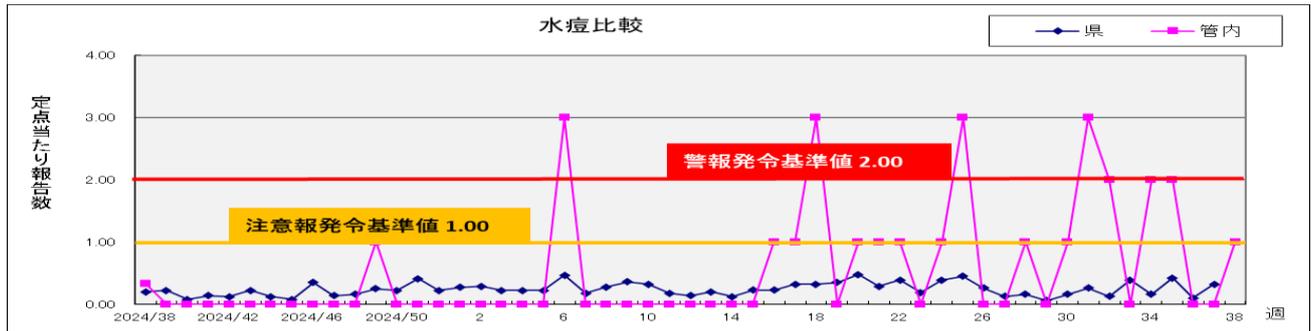
感染から発病までの潜伏期間はおおよそ3～5日です。

◎腸管出血性大腸菌感染症の予防のため、以下のポイントに気をつけましょう。

- 食材をよく洗う。生肉の摂取を控え、十分に加熱する。（目安は75℃で1分です。）
生肉の触れたまな板、包丁、食器類は熱湯などで消毒する。
- 井戸水などの生水は、必ず煮沸してから飲む。
- 帰宅時、調理前、調理中、食事前、トイレの後、動物を触った後には手を洗う。
- 保育施設等では、簡易プールの衛生管理に注意し、乳幼児が口に運ぶおもちゃなどは、きれいに拭き取り、必要に応じて消毒する。

● 注意すべき感染症

・水痘（流行発生注意報発令！）

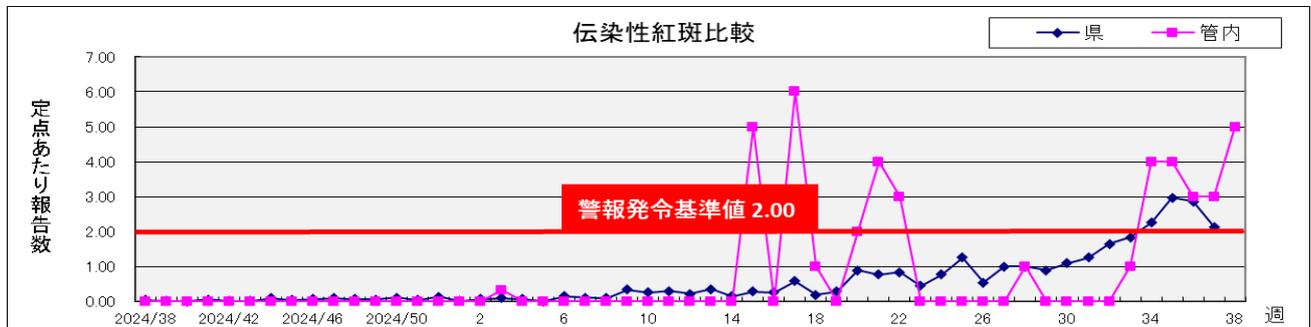


第 38 週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、1 人でした。年齢別では、10～14 歳（1 人）でした。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から 2 週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が 2～3 日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する 1～2 日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第 38 週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、5 人でした。年齢別では、4 歳（2 人）、5 歳・9 歳・10～14 歳（各 1 人）でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20 日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は 1 週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 9/15～9/21（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが 26 人（インフルエンザ型不明 22 人，A 型 4 人），百日咳が 1 人，感染性胃腸炎が 1 人，マイコプラズマ感染症が 1 人，COVID-19 が 14 人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	百日咳	感染性胃 腸炎	マイコプラ ズマ感染症	新型コロナ 感染症
日置市	0	0	1	0	0	5
いちき串木野市	22	4	0	1	1	9
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	22	4	1	1	1	14